

県小学生バレーボール・男子

江刺JVCが初優勝

胆江対決制す



男子は江刺JVC・PHANTOMが初優勝。コート上で跳びはね勝利を喜ぶ選手たち

第20回県小学生バレーボール育成大会最終日は25日、奥州市総合体育館2アリーナなどで行われ、胆江対決となった男子決勝は、江刺JVC・PHANTOMが金ヶ崎VBCを2-0で下し、

初優勝に輝いた。来年3月に高知県で開催する第10回全国スポ少交流大会に本県代表として出場する。女子は大新(盛岡市)が頂点に立った。

【大会詳細は29日付スポーツDXに掲載】男子決勝「江刺」金ヶ崎は、序盤から江刺のペース。江刺は攻撃力のある千葉永雅主将(6年)菊地真広選手(同)菅野馨雅選手(同)を軸にネット際

でリズムをつかむと、バックも堅い守りでもり立て第1セットを先取した。第2セットは両チーム譲らず互角の戦い。金ヶ崎も伊藤尚輝主将(6年)の強力なスパイクなどで追い上げたが、最後は江刺が21-20で振り切った。センスあふれるプレーで攻守に活躍した江刺・千葉主将は「全員が100%の力を出し切った」と会心の勝利に笑顔。創団4年目でつかんだ初の全国大会に向け「本番までにサブカットを強化して優勝を狙いたい」と気合十分。仲間と冬場の猛練習を誓っていた。

でリズムをつかむと、バックも堅い守りでもり立て第1セットを先取した。第2セットは両チーム譲らず互角の戦い。金ヶ崎も伊藤尚輝主将(6年)の強力なスパイクなどで追い上げたが、最後は江刺が21-20で振り切った。センスあふれるプレーで攻守に活躍した江刺・千葉主将は「全員が100%の力を出し切った」と会心の勝利に笑顔。創団4年目でつかんだ初の全国大会に向け「本番までにサブカットを強化して優勝を狙いたい」と気合十分。仲間と冬場の猛練習を誓っていた。